

限られた経営資源、どこに使う？

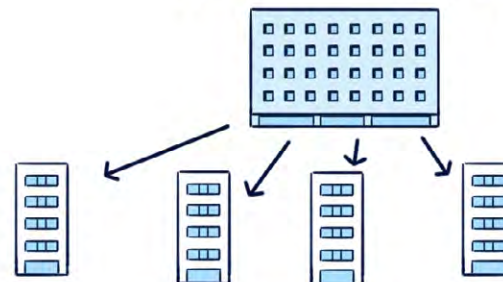
「経営ビジョン2035」の実現に向けて
今活かせる強みは何か
分かってきました

けれども
克服しなければならない課題が
あることも分かりました

そう
やらなければならない施策は
山のようにある

でも経営資源は
有限だ

キューデンホールディングス



基幹会社

一つひとつの事業や施策に目を向けて
みると 限られた経営資源の範囲で
それぞれの強みを活かして

効率的に稼いでいく必要が
あることが分かるね

それぞれの取組単位でしっかり
成果を生み出せるように
考えていくことが大切なんですね

そう
そのために私たちは
ROIC経営を推進して
いくんだ

利益を追うことだけでなく、
資本コストも意識しながら、
最適な投資規模で稼いでいく
必要があるということです

ROIC経営が目指すもの

ROIC-WACCスプレッドの最大化

利益拡大 (短期、中長期) ↗

投下資本最適化 ↘

> WACC低減 ↘

ROIC
(投下資本利益率)

WACC
(加重平均資本コスト)

うむ!

ROIC経営って
そういうことか!

グループ全体でROIC経営を
推進していることを資本市場へ
うまく伝えていければ

キューデングループの課題の一つである
市場からの期待値向上にもつながりますね!

それではキューデングループが
実際にどのようなActionをとって
ROIC経営を推進していくのか
見てみよう